静岡県月例経済報告

（令和２年10月号）

……令和２年８月を中心とした県内経済のすがた……

No. ５３４

－静岡県経済産業部－

目　　次

Ⅰ　静岡県経済の概況 …… 1

Ⅱ　静岡県主要経済指標の概況 …… 5

・需要面 …… 5

・生産面 …… 13

・雇用面 …… 15

・その他 …… 18

Ⅲ　静岡県主要産業の動向 …… 22

Ⅳ　データからみた県内主要産業 …… 25

利用にあたって

1　本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
2　本月報は４部から構成されている。
3　第１部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
4　第２部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
5　第３部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
6　第４部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
7　本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
8　数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)　https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/

Ⅰ　静岡県経済の概況

（本稿は、令和２年８月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。）

概　況

令和２年８月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。

先行きについては、経済活動の再開が進むにつれて、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、新型コロナウイルス感染症の動向に注視する必要がある。

雇用情勢は、厳しい状況にある。

・個人消費は、持ち直しつつある。
・設備投資は、減少している。
・輸出は、下げ止まりつつある。
・生産は、持ち直しつつある。

（下線部は前月からの変更箇所）

需 要 面

「個人消費は、持ち直しつつある」

大型小売店販売額（８月）は、百貨店が11か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパーが７か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも６か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額（８月）は、コンビニエンスストアが６か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が４か月連続、ドラッグストアが10か月連続、ホームセンターが７か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも５か月連続で前年実績を上回った。

自動車（新車）新規登録台数（８月）は、乗用車、軽自動車がいずれも11か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも11か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数（８月）は、持家が５か月連続、貸家が３か月連続、分譲住宅が２か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも２か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額（８月）は、２か月ぶりに前年実績を上回った。

「設備投資は、減少している」

日銀短観（９月調査）の令和２年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（８月）は、２か月ぶりに前年実績を下回った。

「輸出は、下げ止まりつつある」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（８月）は、自動車が３か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機、自動車の部分品がいずれも７か月連続、エアコンが12か月連続、二輪自動車類が８か月連続、科学光学機器が２か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも７か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額(８月)は、魚介類及び同調製品、木材、パルプがいずれも２か月連続、紙類及び同製品が５か月連続、原動機が４か月連続、自動車の部分品が17か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも16か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、700億円の輸出超過となった。

生 産 面

「生産は、持ち直しつつある」

鉱工業生産指数(８月)は、食料品・たばこが５か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が10か月連続、電気機械、パルプ・紙・紙加工品がいずれも13か月連続、輸送機械が19か月連続、化学が７か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも15か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は３か月連続で上昇した。

なお、鉱工業在庫指数(８月)は、総合では２か月ぶりに前年水準を下回った。

雇 用 面

「雇用情勢は、厳しい状況にある」

有効求人倍率(８月)は0.88倍で、前月を0.02ポイント下回った。また、82か月ぶりに0.8倍台となった。なお、17か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(８月)は、12か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(７月)は、18か月連続で前年実績を下回った。

そ の 他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(８月)は、前年同月比 7.0%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(８月)は、前年同月比 408.5%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産(９月)は、件数は13件（前年同月比 35.0%減）、負債総額は11億3,600万円（同26.3%減）と、いずれも前年実績を下回った。

＜トピックス＞　「テクノロジー静岡」開設

先端ものづくり、医療健康など、「先端産業創出プロジェクト」に参画する企業を中心に、優れた技術情報をデータベース化し、インターネット上で検索可能とするウェブサイト「テクノロジー静岡」を令和２年10月14日に開設しました。

テクノロジー静岡
Technology Shizuoka

静岡県内企業の“技術”が詰まったWebサイト！

新たな開発に取組む企業
サプライチェーンの多元化を検討している企業

テクノロジー静岡 Technology Shizuoka
マッチング支援

技術力の高い
静岡県内中小企業

point 1　先端産業プロジェクトと連携

- 先端ものづくり、医療健康、スマート農業など県の先端産業創出プロジェクト関連企業を多数掲載。
- 静岡県内100社、600件の固有技術を掲載。(2020年10月14日現在 随時追加)
- 総勢40名の事業コーディネーターが問合せに対応し、サイト利用者のニーズから最適な企業とのマッチングを支援。

point 2　技術による検索が可能

- サイト利用者が実現したい機能(成形する、切る、削る等)による検索が可能。
- 各企業が得意とする技術を画像付きで紹介。
- プロジェクト相互の連携により、複数の分野にまたがるマッチング支援も可能に。

point 3　絞込み検索が充実

- 取扱可能な素材や取引先業界、国際規格等の認証規格等での絞込み検索が可能。
- 試作品の開発や量産対応の可否等、企業の受注スタンスも記載。
- 技術の項目と掛け合わせて検索することで、サイト利用者のニーズに合う企業を探せる。

主な掲載内容

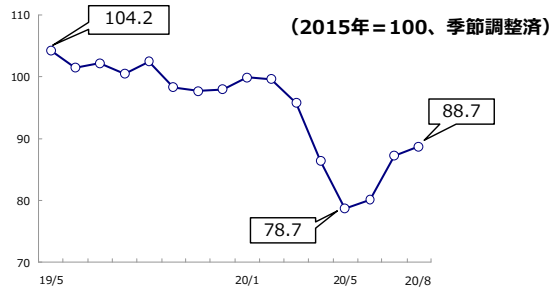
1　得意とする技術
2　主要設備
3　主要取引業界
4　認証規格
5　主な特許情報
6　最近5年間の開発テーマ

問い合わせ先：産業政策課【０５４-２２１-２６５０】

＜トピックス＞ 本県の経済・雇用情勢

1 経済情勢

８月鉱工業生産指数（全国）

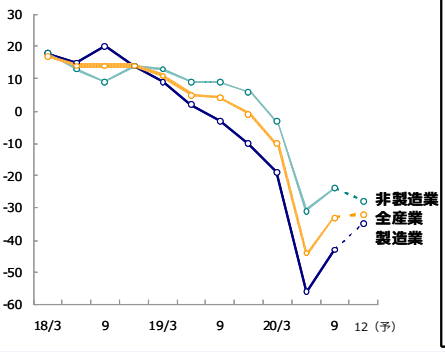


前月比1.7%増加し、88.7。３か月連続の増加。
経産省の基調判断は「持ち直している」と、前月から上方修正。

・**上昇した業種（10業種）**
自動車（8.9%）、輸送機械（自動車除6.6%）、鉄鋼・非鉄金属（6.5%）、無機･有機化学工業（5.4%）、汎用・業務用機械工業（2.1%）、金属製品（1.1%）等
・低下した業種（４業種）
生産用機械（▲9.8%）、電気・情報通信機械工業（▲3.7%）、パルプ･紙･紙加工品（▲3.3%）、石油・石炭製品（▲1.5%）、
※いずれも前月比

※速報値

９月日銀短観（静岡県内）



主な業種	ＤＩ	変化幅
全産業	▲33	↑11
製造業	▲43	↑13
電気機械	▲9	↑33
輸送用機械	▲41	↑26
食料品	0	↑20
紙･パルプ	▲50	↑12
はん用･生産用･業務用機械	▲65	↓13
非製造業	▲24	↑7
運輸･郵便	▲32	↑25
小売	0	↑11
宿泊･飲食サービス	▲100	0
情報通信	▲57	↓28

○業況判断ＤＩ
・全規模計は、前回(６月)から11ポイント改善の▲33
規模別　大企業▲21、中小企業▲35
業種別　製造業▲43、非製造業▲24
⇒ **製造業は６月調査から13ポイント改善。**
⇒ **宿泊・飲食サービスで厳しい状況が続く一方、電気機械、輸送用機械は改善**
⇒**DIは2017年12月調査以来11期ぶりに改善**

※日銀静岡支店長
「最悪期は脱したが、経営者の先行きへの見方は依然として慎重で、本格的な回復とはいえない」

2 雇用情勢

（１）有効求人倍率

出典：総務省、厚生労働省、静岡労働局
※完全失業率、完全失業者数は季節調整値

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全国	有効求人倍率（倍）	1.49	1.45	1.39	1.32	1.20	1.11	1.08	1.04
	完全失業率（%）	2.4	2.4	2.5	2.6	2.9	2.8	2.9	3.0
	完全失業者数（万人）	164	166	172	178	197	194	196	205
本県	有効求人倍率（倍）	1.38	1.27	1.22	1.17	1.06	0.96	0.90	0.88
	完全失業率（%）	1～3月平均 2.0%			4～6月平均 2.2%			－	－
	完全失業者数（万人）	1～3月平均 4.0万人			4～6月平均 4.5万人			－	－

（２）8月分労働力調査

※完全失業者数、就業者数は季節調整値

区　分	実　数	摘　要
完全失業者数（完全失業率）	205万人（3.0%）	対前月比＋9万人（前月から0.1ポイント）
就業者数	6,659 万人	対前年同月比 ▲74 万人
宿泊業・飲食ｻｰﾋﾞｽ業	391 万人	同　▲28 万人
卸売・小売業	1,032 万人	同　▲16 万人
生活関連ｻｰﾋﾞｽ・娯楽業	237 万人	同　▲6 万人
製造業	1,026 万人	同　▲52 万人
非正規の職員・従業員数	2,070 万人	同　▲120 万人
休業者	216 万人	前年同月比+14万人、前月比▲4万人

出典：総務省

（３）解雇・雇い止めの状況（解雇等見込み労働者数）

（人）

出典：厚生労働省、静岡労働局

区分	5/29	6/26	7/31	8/28	9/25	10/2	10/9
全国	16,723	28,173	41,391	49,467	60,923	63,347	65,121
本県	421	662	768	842	1,194	1,229	1,396

（４）県内ハローワークにおける外国人新規求職者数の推移

出典：静岡労働局

区分	平成31（令和元）年①					令和２年②					前年同月比（%）（②/①）				
	4月	5月	6月	7月	8月	4月	5月	6月	7月	8月	4月	5月	6月	7月	8月
新規求職者数	13,670	11,272	10,368	10,981	9,960	13,706	11,245	12,597	11,537	9,892	100.3	99.8	121.5	105.1	99.3
外国人	592	653	615	671	568	959	1,317	1,322	1,144	847	162.0	201.7	215.0	170.5	149.1

Ⅱ　静岡県主要経済指標の概況

需　要　面

1　個人消費

(1) 大型小売店販売額　　８月 ＝ 37,924百万円　　＊前年同月比：　0.8%増

（県内３百貨店、152ｽｰﾊﾟｰ合計）

＜概　況＞

８月の大型小売店販売額は37,924百万円で、前年同月比 0.8%増となり、６か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 14.1%減）が11か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパー（同 3.7%増）が７か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 17.3%減）、身の回り品（同 10.3%減）がいずれも11か月連続、家庭用品（同 10.8%減）が２か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同 5.3%増）が７か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は3.2%増と、３か月連続で前年実績を上回った。

＜最近の動き＞

	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
販売額（百万円）	33,831	30,869	35,437	31,454	34,484	36,061	36,427	37,924
前年同月比(%)	▲ 2.6	3.2	▲ 5.9	▲ 11.9	▲ 4.8	▲ 0.5	▲ 0.4	0.8
うち　百貨店(%)	▲ 5.8	▲ 5.5	▲ 28.9	▲ 64.2	▲ 50.5	▲ 13.8	▲ 13.5	▲ 14.1
ｽｰﾊﾟｰ(%)	▲ 1.8	5.3	0.1	0.3	5.0	2.6	2.7	3.7
(参考1)全国前年同月比(%)	▲ 1.4	0.2	▲ 10.1	▲ 22.1	▲ 16.7	▲ 3.5	▲ 4.2	▲ 3.2
うち　百貨店(%)	▲ 1.8	▲ 10.5	▲ 31.9	▲ 71.1	▲ 63.6	▲ 17.3	▲ 18.6	▲ 20.0
ｽｰﾊﾟｰ(%)	▲ 1.3	5.3	1.3	0.9	4.5	3.2	3.0	3.7
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲ 1.3	4.5	▲ 4.9	▲ 8.8	▲ 1.8	0.5	0.9	3.2

（注１）販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値　　〈資料〉経済産業省

（注２）令和２年３月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

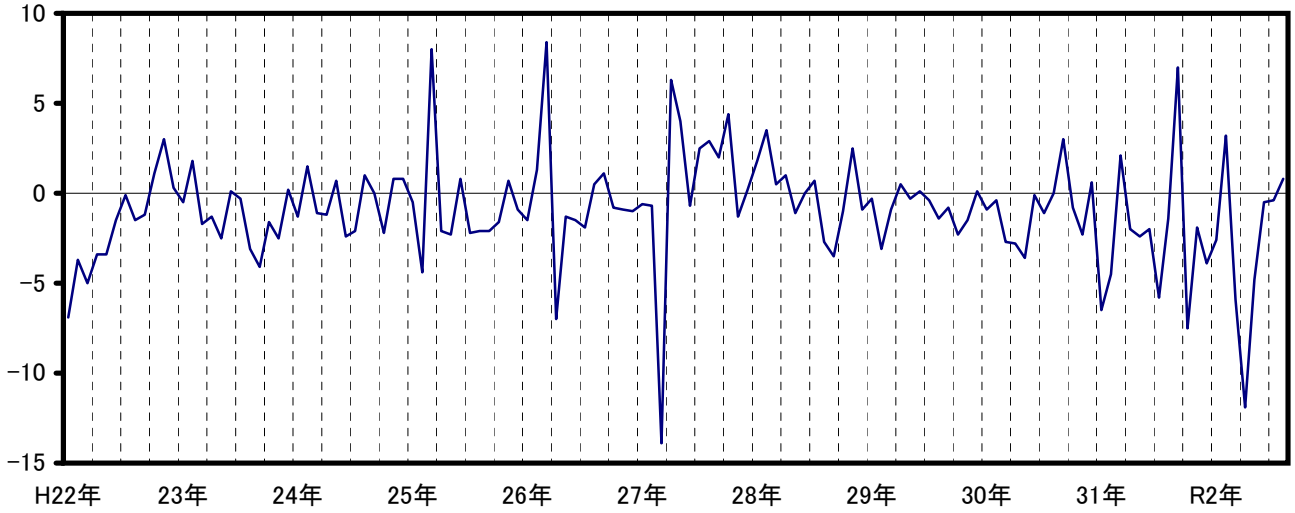
＜商品別前年同月比の推移＞　　（単位：%）

	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
衣料品	▲ 7.0	▲ 3.7	▲ 32.8	▲ 63.8	▲ 41.5	▲ 8.3	▲ 19.8	▲ 17.3
うち紳士服・洋品	▲ 7.5	▲ 3.7	▲ 29.1	▲ 60.8	▲ 32.4	▲ 5.8	▲ 25.9	▲ 27.5
婦人･子供服･洋品	▲ 6.8	▲ 3.4	▲ 34.4	▲ 65.9	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 17.5	▲ 13.9
身の回り品	▲ 5.3	▲ 6.0	▲ 27.7	▲ 57.8	▲ 44.0	▲ 4.8	▲ 2.4	▲ 10.3
飲食料品	▲ 0.9	5.1	2.5	2.5	5.8	1.7	3.8	5.3
家庭用品	▲ 4.0	▲ 0.7	▲ 15.5	▲ 23.9	▲ 13.3	0.7	▲ 9.8	▲ 10.8
うち家庭用電気機械器具	▲ 9.0	▲ 2.2	▲ 25.8	▲ 26.1	▲ 12.3	▲ 7.2	▲ 0.8	▲ 8.4

(注)店舗数調整済、全月速報値　　〈資料〉経済産業省

＜過去10年間の推移＞

大型小売店販売額前年同月比(%)　　〈資料〉経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

８ 月 ＝ 80,322百万円

＊前年同月比： 4.7%増

（県内89家電大型専門店、1,677コンビニエンスストア、514ドラッグストア、114ホームセンター合計）

＜概　況＞

８月の専門量販店等販売額は80,322百万円で、前年同月比 4.7%増となり、５か月連続で前年実績を上回った。
業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比 5.5%減）が６か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 13.2%増）が４か月連続、ドラッグストア（同 9.6%増）が10か月連続、ホームセンター（同 19.6%増）が７か月連続で前年実績を上回った。

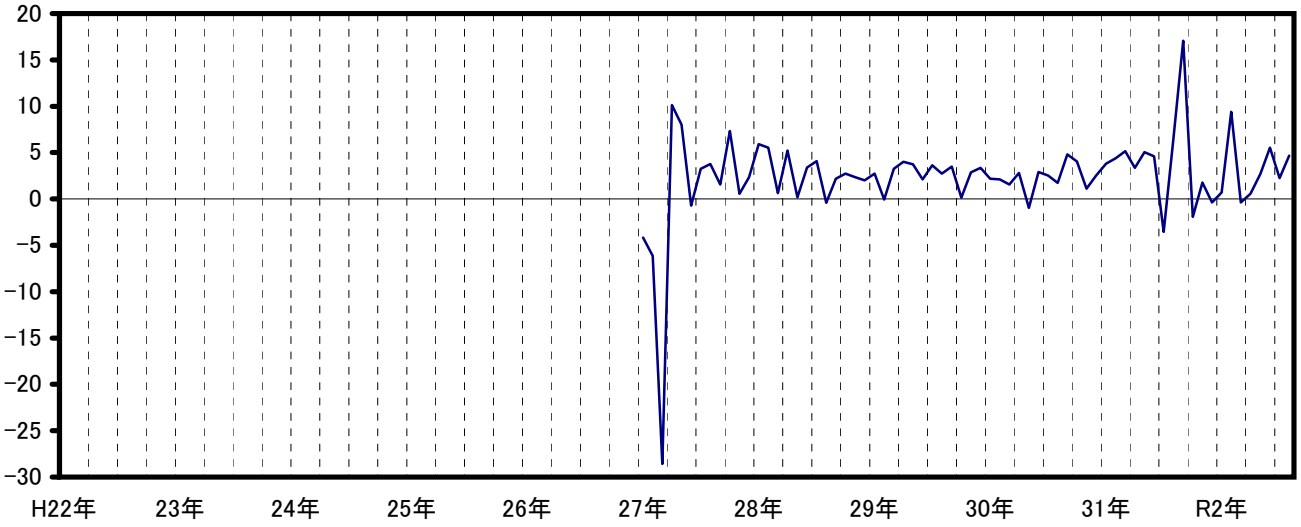
＜最近の動き＞

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
販売額（百万円）	67,663	67,080	71,656	69,253	72,520	73,680	75,788	80,322
前年同月比 (%)	0.7	9.4	▲ 0.4	0.6	2.7	5.5	2.3	4.7
うち 家電大型専門店 (%)	▲ 3.7	3.1	▲ 8.0	▲ 3.7	11.5	25.9	17.0	13.2
コンビニエンスストア (%)	0.5	3.5	▲ 5.5	▲ 9.3	▲ 9.0	▲ 4.6	▲ 8.3	▲ 5.5
ドラッグストア (%)	4.3	18.7	7.6	11.6	8.9	7.2	7.3	9.6
ホームセンター (%)	▲ 3.7	10.6	5.1	8.5	18.5	14.7	10.3	19.6
(参考)全国前年同月比(%)	2.1	8.5	▲ 1.9	▲ 2.9	0.2	5.8	1.2	2.9

（注１）販売額、前年同月比は店舗数未調整　　〈資料〉経済産業省
（注２）平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

＜過去10年間の推移＞

専門量販店等販売額前年同月比(%)　　〈資料〉経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数　８月 ＝ 11,435 台

＊前年同月比： 12.0%減

(乗用車、軽自動車合計)

＜概　況＞

８月の自動車（新車）新規登録台数は11,435台（前年同月比 12.0%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。
車種別にみると、乗用車(前年同月比 15.5%減）、軽自動車（同 8.2%減）がいずれも11か月連続で前年実績を下回った。

＜最近の動き＞

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
登録台数（台）	13,792	15,947	20,352	9,339	7,392	11,764	13,880	11,435
前年同月比(%)	▲ 12.0	▲ 10.2	▲ 8.1	▲ 26.0	▲ 45.1	▲ 23.8	▲ 12.1	▲ 12.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 12.1	▲ 9.8	▲ 8.9	▲ 30.4	▲ 46.7	▲ 22.6	▲ 12.8	▲ 14.8

〈資料〉県税務課、日本自動車販売協会連合会

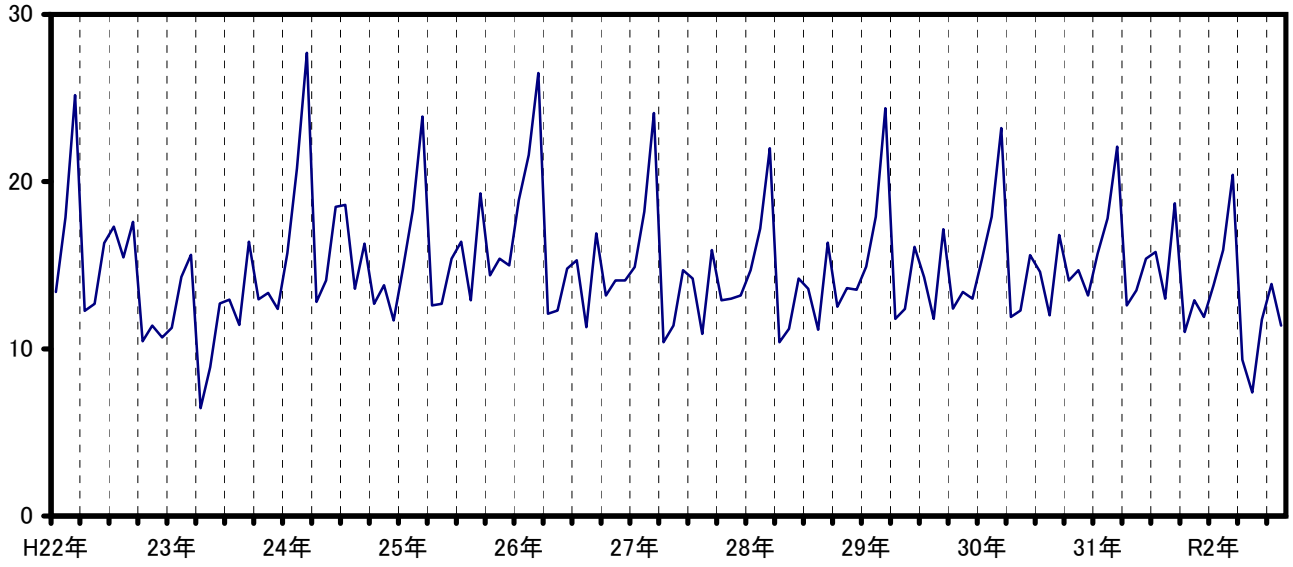
＜車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移＞　(単位：%)

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
全乗用車	▲ 12.0	▲ 10.2	▲ 8.1	▲ 26.0	▲ 45.1	▲ 23.8	▲ 12.1	▲ 12.0
乗用車	▲ 16.9	▲ 13.2	▲ 11.4	▲ 25.7	▲ 42.1	▲ 27.5	▲ 18.6	▲ 15.5
軽自動車	▲ 6.2	▲ 6.7	▲ 4.0	▲ 26.3	▲ 48.5	▲ 19.4	▲ 4.2	▲ 8.2

〈資料〉県税務課

＜過去10年間の推移＞

自動車(新車)新規登録台数(千台)　〈資料〉県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車＋軽乗用車

２　新設住宅着工戸数

８月 ＝ 1,606 戸

＊前年同月比： 20.2%減

＜概　況＞

８月の新設住宅着工戸数は1,606戸で、前年同月比 20.2%減と、２か月ぶりに前年実績を下回った。
利用関係別にみると、持家（前年同月比 22.7%減）が５か月連続、貸家（同 23.5%減）が３か月連続、分譲住宅（同 5.2%減）が２か月ぶりに前年実績を下回った。

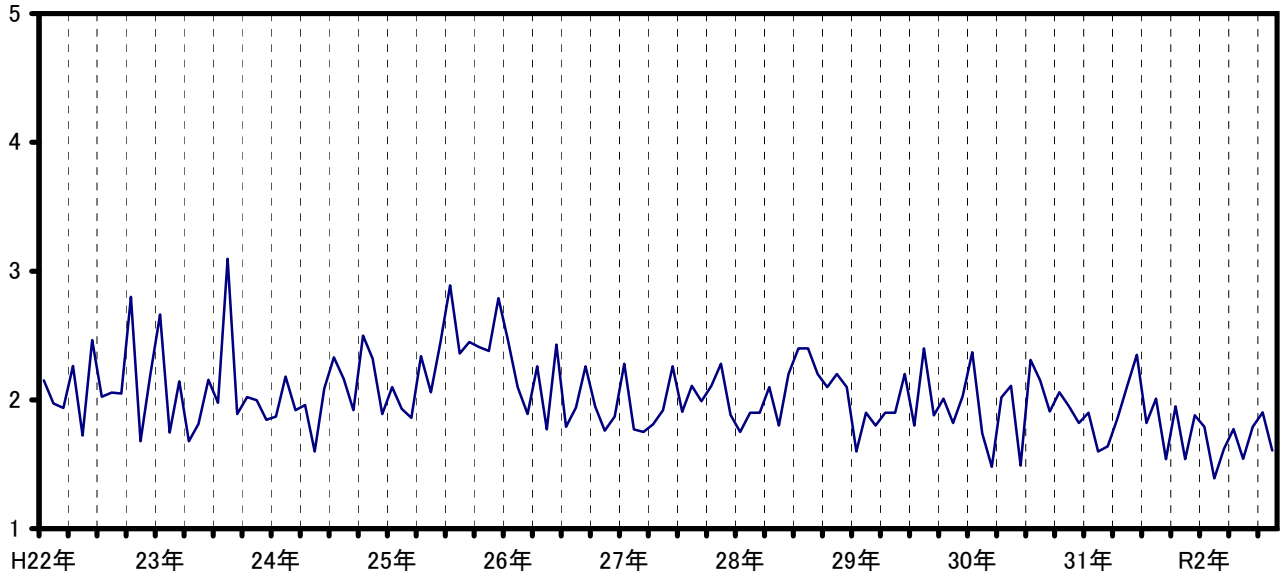
＜最近の動き＞

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
戸　　数　（戸）	1,792	1,391	1,624	1,774	1,541	1,790	1,902	1,606
前年同月比（%）	▲ 5.5	▲ 13.2	▲ 1.1	▲ 4.4	▲ 27.0	▲ 23.8	4.4	▲ 20.2
うち持家（%）	▲ 8.5	▲ 18.9	5.8	▲ 8.1	▲ 40.1	▲ 17.1	▲ 13.2	▲ 22.7
貸家（%）	▲ 10.5	▲ 21.4	▲ 6.6	15.1	18.2	▲ 39.2	▲ 1.4	▲ 23.5
分譲住宅（%）	2.7	21.8	▲ 11.4	▲ 15.4	▲ 46.2	▲ 10.9	92.7	▲ 5.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 10.1	▲ 12.3	▲ 7.6	▲ 12.9	▲ 12.3	▲ 12.8	▲ 11.4	▲ 9.1

〈資料〉県住まいづくり課

＜過去10年間の推移＞

新設住宅着工戸数(千戸)　　〈資料〉県住まいづくり課



３　公共工事請負金額

８ 月 ＝　37,227百万円

＊前年同月比：　23.9%増

（建設保証会社保証実績）

＜概　況＞

８月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は37,227百万円で､前年同月比 23.9%増となり、２か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は782件で、前年同月比 2.8%増となり、２か月ぶりに前年実績を上回った。

＜最近の動き＞

	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
金　額　（百万円）	14,407	13,907	21,165	68,572	51,996	61,723	41,226	37,227
前年同月比　(%)	52.8	29.9	46.0	▲ 15.9	59.9	49.8	▲ 3.0	23.9
年度累計前年同月比 (%)	27.3	27.4	28.3	▲ 15.9	5.7	17.4	13.0	14.5
件　数　（件）	385	297	378	664	494	727	857	782
前年同月比　(%)	22.2	78.9	41.0	18.8	▲ 13.8	8.5	▲ 2.7	2.8
年度累計前年同月比 (%)	▲ 2.4	▲ 0.6	0.8	18.8	2.3	4.6	2.2	2.3

〈資料〉東日本建設業保証(株)静岡支店

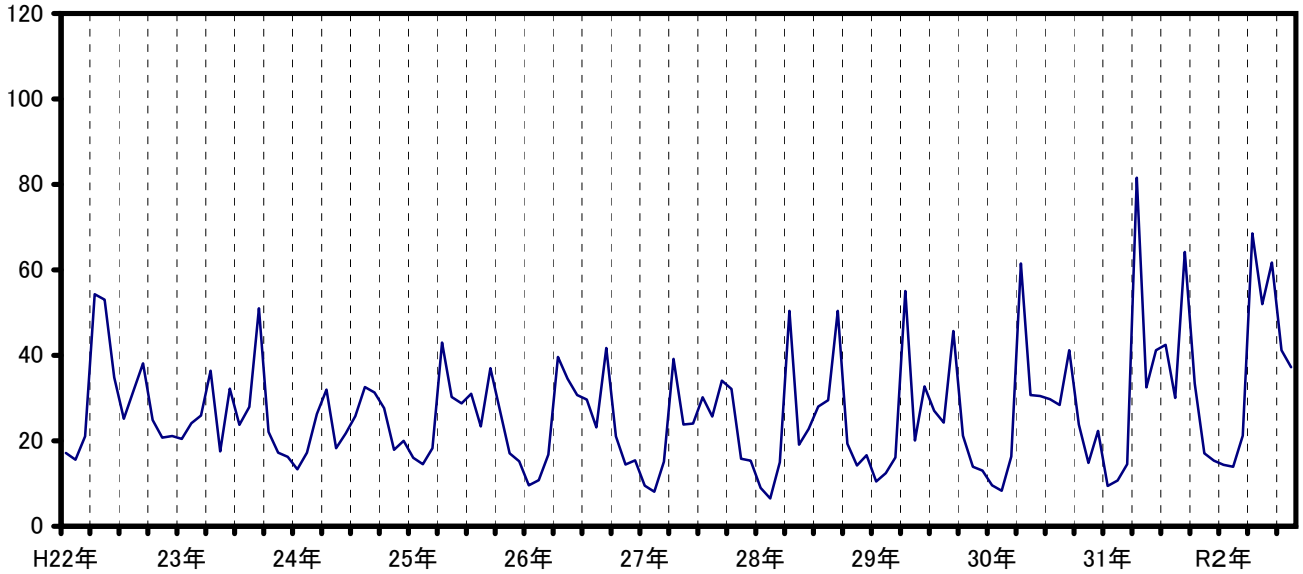
＜発注者別請負金額前年同月比の推移＞　(単位：%)

	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
国	24.4	79.8	58.9	▲ 40.4	56.2	25.7	23.7	23.5
独立行政法人等	271.0	9.4	▲ 86.6	▲ 61.1	317.0	255.2	255.5	407.7
県	66.0	48.6	191.3	64.1	8.8	46.2	▲ 7.2	39.0
市町	27.8	51.2	22.8	7.6	▲ 19.9	44.8	▲ 18.2	▲ 6.7
地方公社	1,713.8	－	－	▲ 85.8	－	－	▲ 78.4	▲ 98.6
その他	329.2	▲ 89.7	▲ 93.0	▲ 65.2	247.4	▲ 85.2	▲ 28.1	▲ 44.5

〈資料〉東日本建設業保証(株)静岡支店

＜過去10年間の推移＞

公共工事請負金額(十億円)　　〈資料〉東日本建設業保証(株)静岡支店



4　設備投資

＜概　況＞

令和元年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

令和２年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業(前年度比 8.7%減)、非製造業(同 3.4%減)、全産業（同 6.1%減）においていずれも減少する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 2.6%減）、非製造業（同 3.4%減）、全産業（同 2.8%減）においていずれも減少する計画となっている。

８月の着工建築物床面積（非居住用）は100,766㎡で、前年同月比 14.8%減となり、２か月ぶりに前年実績を下回った。

＜企業短期経済観測調査結果＞　（前年度比%　　（　　）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R元年度（実績）	R2年度（計画）
全産業	県	5.2	(▲0.7) ▲6.1
	全国	▲0.6	(▲1.9) ▲2.7
製造業	県	9.4	(▲1.9) ▲8.7
	全国	0.9	(▲3.3) ▲0.3
非製造業	県	1.0	(0.5) ▲3.4
	全国	▲1.5	(▲1.0) ▲4.1

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R元年度（実績）	R2年度（計画）
全産業	県	1.4	(▲0.7) ▲2.8
	全国	1.6	(▲1.8) ▲0.9
製造業	県	0.7	(▲0.8) ▲2.6
	全国	1.7	(▲2.4) 0.3
非製造業	県	3.0	(▲0.4) ▲3.4
	全国	1.5	(▲1.2) ▲2.2

（注１）平成29年３月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注２）平成29年３月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）を追加

〈資料〉日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和２年９月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和２年９月調査)」

＜最近の動き＞

	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	65,693	68,069	88,664	88,441	114,434	127,714	132,677	100,766
前年同月比（%）	▲ 4.1	▲ 55.5	15.5	▲ 35.3	▲ 23.5	▲ 21.6	24.5	▲ 14.8
（参考）全国前年同月比（%）	▲ 25.1	▲ 2.6	11.5	▲ 9.1	▲ 2.6	▲ 18.2	▲ 22.6	▲ 8.2

（注３）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

〈資料〉国土交通省

＜参考　県内企業の業況判断D.I.＞

		R２年６月	９月	12月（予測）
全産業		▲ 44	▲ 33	▲ 32
	製造業	▲ 56	▲ 43	▲ 35
	非製造業	▲ 31	▲ 24	▲ 28
（参考）全国・全産業		▲ 31	▲ 28	▲ 27

（注４）業況判断D.I.:「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

〈資料〉　日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和２年９月調査)」

5　輸出

８ 月 ＝ 140,513百万円

＊前年同月比：　13.5%減

（清水税関支署管内通関実績）

＜概　況＞

８月の清水税関支署管内の輸出総額は140,513百万円で、前年同月比 13.5%減となり、７か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 66.6%増）が３か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 39.4%減）、自動車の部分品（同 38.9%減）がいずれも７か月連続、エアコン（同 39.3%減）が12か月連続、二輪自動車類（同 25.5%減）が８か月連続、科学光学機器（同 4.5%減）が２か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、ＥＵ向け（前年同月比 3.8%増）が９か月ぶりに前年実績を上回ったものの、アジア向け（同 12.6%減）が６か月連続、米国向け（同 30.4%減）が13か月連続で前年実績を下回った。

＜最近の動き＞

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
輸出総額（百万円）	154,849	177,796	181,032	147,563	102,775	125,170	142,582	140,513
前年同月比（%）	2.6	▲ 1.5	▲ 10.3	▲ 13.3	▲ 32.6	▲ 29.2	▲ 31.5	▲ 13.5

〈資料〉清水税関支署

＜主要品目別前年同月比の推移＞　（単位:%）

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
原動機	4.9	▲ 13.4	▲ 14.7	▲ 37.1	▲ 58.9	▲ 51.3	▲ 40.4	▲ 39.4
エアコン	▲ 6.1	▲ 27.7	▲ 20.6	▲ 33.7	▲ 56.7	▲ 36.8	▲ 40.5	▲ 39.3
自動車	▲ 21.1	25.1	15.1	▲ 64.3	▲ 74.5	90.8	102.7	66.6
自動車の部分品	2.2	▲ 11.4	▲ 25.8	▲ 16.9	▲ 47.5	▲ 60.0	▲ 49.9	▲ 38.9
二輪自動車類	▲ 12.2	▲ 8.6	▲ 6.5	▲ 25.3	▲ 65.8	▲ 62.6	▲ 41.0	▲ 25.5
科学光学機器	52.4	42.0	19.8	7.3	43.3	30.6	▲ 0.7	▲ 4.5

〈資料〉清水税関支署

＜地域別前年同月比の推移＞　（単位:%）

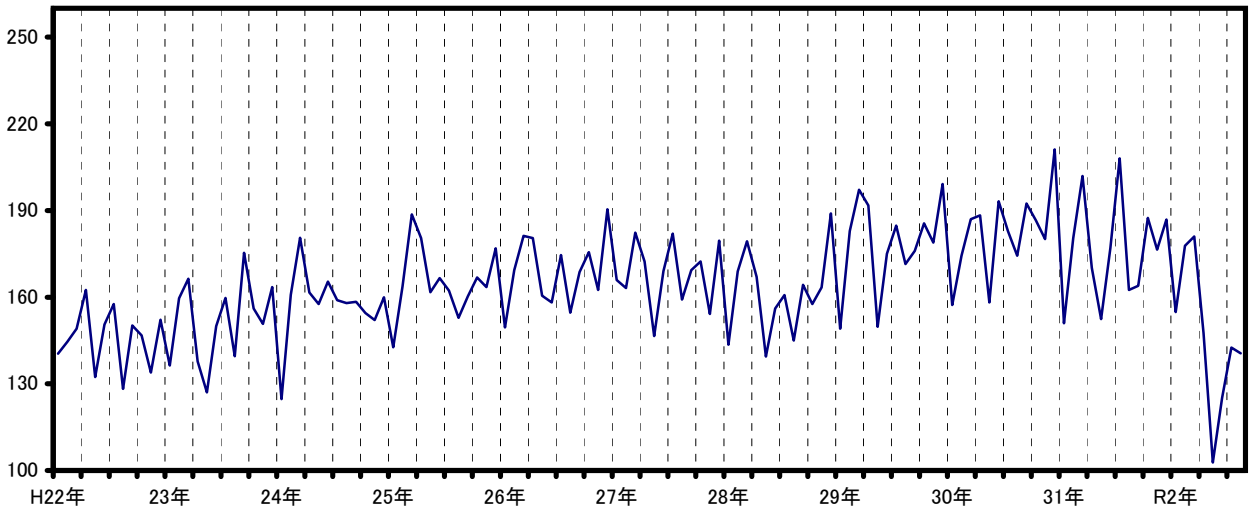
	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
アジア	8.0	2.4	▲ 14.2	▲ 1.2	▲ 13.5	▲ 23.4	▲ 18.4	▲ 12.6
米国	▲ 4.9	▲ 5.5	▲ 10.2	▲ 23.3	▲ 40.5	▲ 51.9	▲ 61.8	▲ 30.4
ＥＵ	▲ 0.3	▲ 4.3	▲ 11.3	▲ 27.4	▲ 51.3	▲ 8.9	▲ 0.1	3.8

〈資料〉清水税関支署

（注）管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の４つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

＜過去10年間の推移＞

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)　〈資料〉清水税関支署



６　輸入

８ 月 ＝　70,482百万円

＊前年同月比：　15.3%減

（清水税関支署管内通関実績）

＜概　況＞

８月の清水税関支署管内の輸入総額は70,482百万円で、前年同月比 15.3%減となり、16か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 18.8%減）、木材（同 13.9%減）、パルプ（同 36.1%減）がいずれも２か月連続、紙類及び同製品（同 34.9%減）が５か月連続、原動機（同 42.0%減）が４か月連続、自動車の部分品（同 26.9%減）が17か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、米国から（前年同月比 7.5%増）が３か月ぶりに前年実績を上回ったものの、アジアから(同 8.5%減)が５か月連続、ＥＵから（同 1.4%減）が２か月連続で前年実績を下回った。

＜最近の動き＞

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
輸入総額（百万円）	90,845	66,626	89,323	87,630	75,883	74,880	72,080	70,482
前年同月比（%）	▲ 13.0	▲ 14.0	▲ 1.7	▲ 13.4	▲ 20.9	▲ 14.4	▲ 21.3	▲ 15.3

〈資料〉清水税関支署

＜主要品目別前年同月比の推移＞　（単位:%）

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
魚介類及び同調製品	▲ 28.9	▲ 17.0	▲ 5.1	▲ 18.6	▲ 21.8	0.6	▲ 27.9	▲ 18.8
木材	▲ 13.9	6.4	▲ 27.9	▲ 17.4	▲ 43.3	4.7	▲ 27.9	▲ 13.9
パルプ	▲ 50.3	▲ 15.5	▲ 19.7	▲ 27.1	▲ 45.9	4.3	▲ 9.2	▲ 36.1
紙類及び同製品	▲ 7.9	54.2	8.5	▲ 8.1	▲ 28.0	▲ 1.3	▲ 32.9	▲ 34.9
原動機	▲ 20.5	▲ 29.0	44.1	4.6	▲ 41.5	▲ 34.8	▲ 30.7	▲ 42.0
自動車の部分品	▲ 9.9	▲ 41.2	▲ 5.0	▲ 32.0	▲ 63.4	▲ 53.2	▲ 36.4	▲ 26.9

〈資料〉清水税関支署

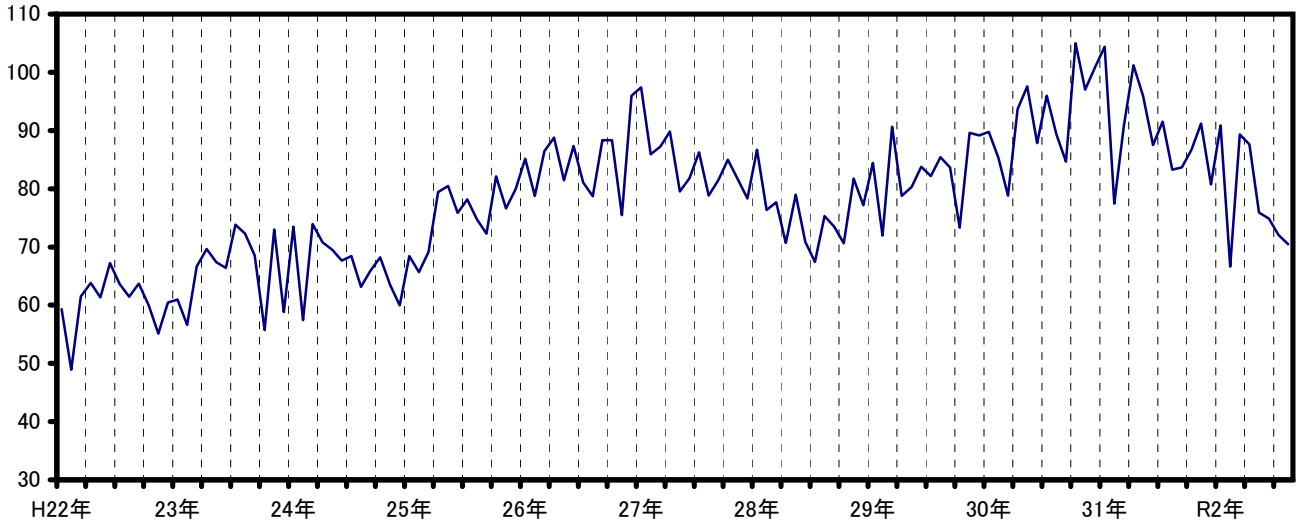
＜地域別前年同月比の推移＞　（単位:%）

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
アジア	3.7	▲ 26.9	7.1	▲ 15.2	▲ 29.7	▲ 17.4	▲ 23.5	▲ 8.5
米国	▲ 12.5	▲ 15.4	3.1	33.7	36.8	▲ 18.2	▲ 43.0	7.5
ＥＵ	▲ 40.9	▲ 18.6	▲ 18.3	▲ 18.9	▲ 33.0	34.3	▲ 24.9	▲ 1.4

〈資料〉清水税関支署

＜過去10年間の推移＞

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)　〈資料〉清水税関支署



生　　産　　面

1　生　　産

(1) 鉱工業生産指数　　８月＝　90.1

（平成27年＝100、鉱工業総合、季節調整済指数）

＊前月比(季節調整済指数)：　1.8%増
＊前年同月比(原指数)　　：　10.2%減

＜概　況＞

８月の鉱工業生産指数（総合）は90.1（季節調整済指数）で、前月比は1.8%増と、３か月連続で上昇した。また、前年同月比（原指数）は10.2%減と、15か月連続で前年水準を下回った。
業種別にみると、食料品・たばこ（前年同月比 0.5%増）が５か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械（同 26.4%減）が10か月連続、電気機械（同 10.0%減）、パルプ・紙・紙加工品（同 4.7%減)がいずれも13か月連続、輸送機械（同 4.8%減）が19か月連続、化学（同 16.0%減）が７か月連続で前年水準を下回った。

＜最近の動き＞

	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
指　　数	99.7	97.4	95.0	75.4	69.6	82.1	88.5	90.1
前　月　比　(%)	1.9	▲ 2.3	▲ 2.5	▲ 20.6	▲ 7.7	18.0	7.8	1.8
前年同月比　(%)	▲ 4.2	▲ 7.3	▲ 5.8	▲ 26.5	▲ 34.5	▲ 14.8	▲ 12.5	▲ 10.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 2.4	▲ 5.7	▲ 5.2	▲ 15.0	▲ 26.3	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 13.8

(注)平成27年＝100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数　　〈資料〉県統計調査課、経済産業省

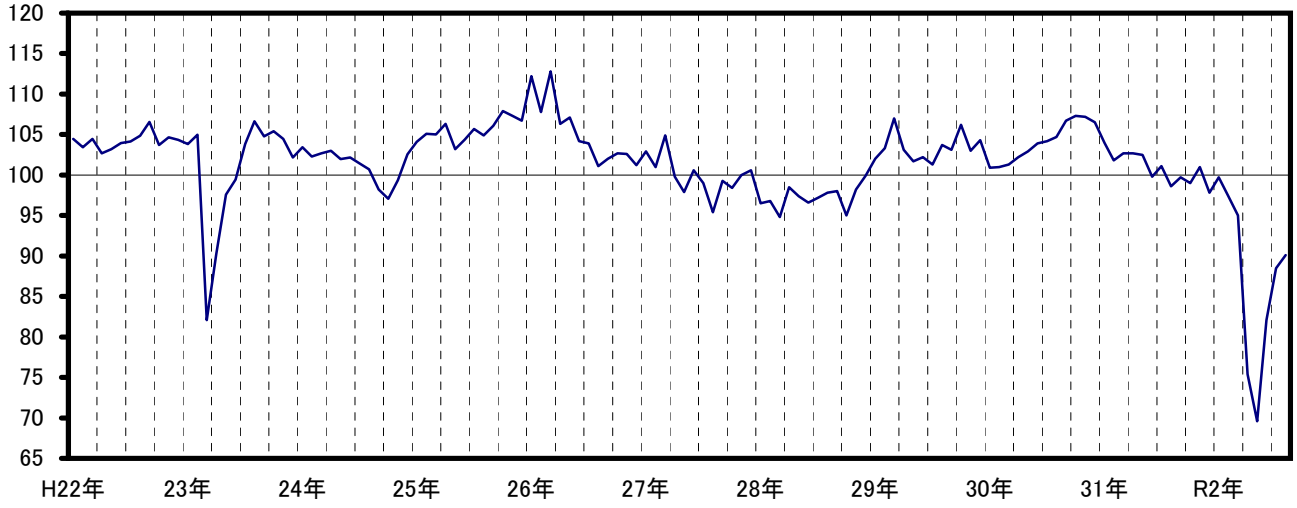
＜県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移＞　　(単位：%)

	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 8.1	▲ 15.9	▲ 10.3	▲ 31.6	▲ 30.1	▲ 18.1	▲ 33.2	▲ 26.4
電　気　機　械　工　業	▲ 16.0	▲ 21.8	▲ 8.1	▲ 22.5	▲ 32.7	▲ 20.3	▲ 16.0	▲ 10.0
輸　送　機　械　工　業	▲ 3.6	▲ 4.2	▲ 3.9	▲ 52.4	▲ 54.2	▲ 8.3	▲ 2.6	▲ 4.8
化　学　工　業	3.0	▲ 1.8	▲ 1.8	▲ 7.4	▲ 11.9	▲ 5.3	▲ 10.3	▲ 16.0
ﾊﾟﾙﾌﾟ・紙・紙加工品工業	▲ 4.7	▲ 5.1	▲ 6.4	▲ 4.8	▲ 8.6	▲ 9.1	▲ 14.1	▲ 4.7
食料品・たばこ工業	4.6	4.9	0.2	▲ 3.8	▲ 29.5	▲ 18.8	▲ 7.6	0.5

(注)平成27年＝100、鉱工業総合、前年同月比:原指数　　〈資料〉県統計調査課

＜過去10年間の推移＞

鉱工業生産指数(総合、平成27年＝100)　　〈資料〉県統計調査課



(2) 鉱工業在庫指数

８ 月 ＝ 105.9

（平成27年＝100、鉱工業総合、季節調整済指数）

＊前月比（季節調整済指数）： 1.8％減
＊前年同月比（原指数） ： 2.7％減

＜概　況＞

８月の鉱工業在庫指数（総合）は105.9（季節調整済指数）で、前月比は1.8％減と、２か月ぶりに低下した。また、前年同月比（原指数）は2.7％減と、２か月ぶりに前年水準を下回った。
なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面（景気後退期）」に該当する。
業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械（前年同月比 9.6％増）が20か月連続、輸送機械（同 21.6％増）が４か月連続、パルプ･紙･紙加工品（同 4.6％増）が２か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械（同 13.4％減）が８か月連続、化学（同 6.3％減）、食料品・たばこ（同 5.7％減）がいずれも３か月連続で前年水準を下回った。

＜最近の動き＞

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
指　　数	114.0	108.6	106.3	108.7	109.0	105.4	107.8	105.9
前　月　比（%）	4.1	▲ 4.7	▲ 2.1	2.3	0.3	▲ 3.3	2.3	▲ 1.8
前年同月比（%）	4.9	1.5	▲ 3.5	0.4	3.0	▲ 1.1	0.5	▲ 2.7
(参考)全国前年同月比(%)	3.6	1.6	2.9	2.7	▲ 0.5	▲ 3.4	▲ 4.8	▲ 5.9

（注）平成27年＝100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数　　〈資料〉県統計調査課、経済産業省

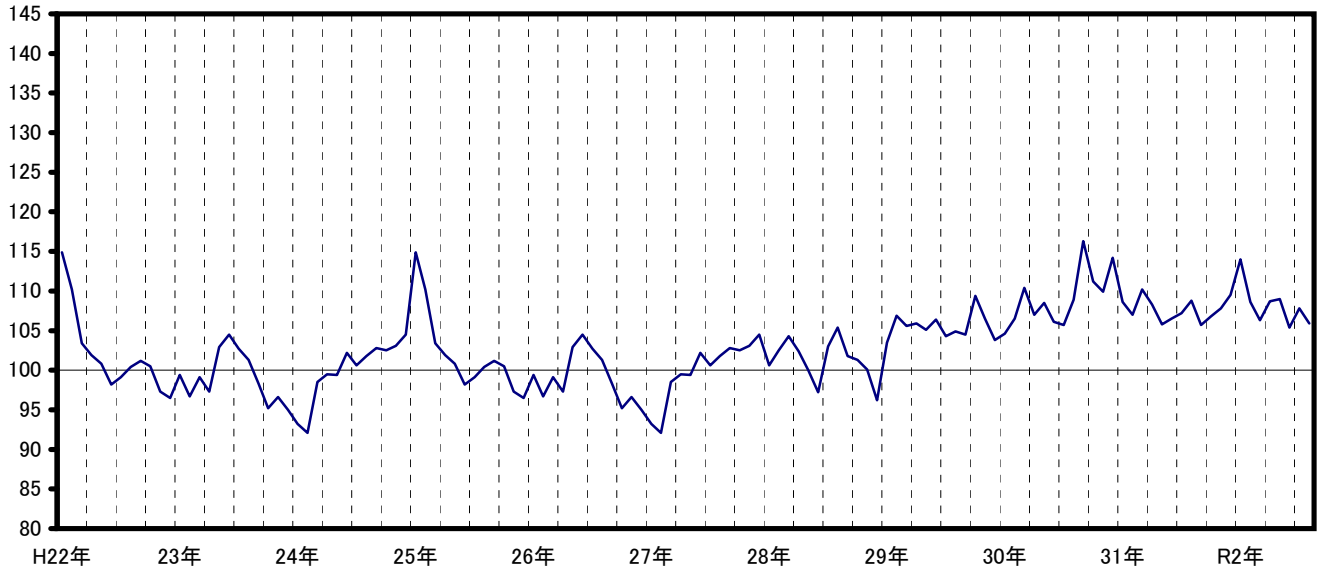
＜県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移＞　（単位：%）

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
はん用・生産用・業務用機械工業	31.3	31.0	31.3	33.1	0.8	17.0	10.6	9.6
電気機械工業	▲ 0.4	▲ 11.7	▲ 9.7	▲ 8.7	▲ 4.9	▲ 0.8	▲ 12.5	▲ 13.4
輸送機械工業	6.8	32.5	▲ 5.9	▲ 27.1	10.8	43.3	54.1	21.6
化学工業	6.8	▲ 10.9	▲ 2.0	6.9	21.9	▲ 2.3	▲ 1.8	▲ 6.3
ﾊﾟﾙﾌﾟ・紙･紙加工品工業	12.3	9.0	▲ 4.7	▲ 6.5	0.9	2.8	0.0	4.6
食料品・たばこ工業	6.3	12.3	▲ 1.2	13.6	7.4	▲ 7.7	▲ 4.4	▲ 5.7

（注）平成27年＝100、鉱工業総合、前年同月比:原指数　　〈資料〉県統計調査課

＜過去10年間の推移＞

鉱工業在庫指数（総合、平成27年＝100）　〈資料〉県統計調査課



雇　用　面

1　雇　用

(1) 有効求人倍率

８ 月 ＝ 0.88倍　＊前月比（季節調整値）　：　0.02ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

＜概　況＞

８月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き､パートタイムを含む）は0.88倍となり、前月を0.02ポイント下回った。また、17か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒､パートタイムを除く）（前年同月比 31.5%減）は24か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比 7.8%減）、運輸業・郵便業(同 13.5%減)、卸売業・小売業（同 36.7%減）がいずれも８か月連続、製造業（同 44.3%減）が21か月連続、情報通信業（同 33.8%減）が７か月連続、医療・福祉（同 26.8%減）が10か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同 47.1%減）が16か月連続で前年実績を下回った。

＜最近の動き＞　（単位：倍）

	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
県	1.38	1.27	1.22	1.17	1.06	0.96	0.90	0.88
全　国	1.49	1.45	1.39	1.32	1.20	1.11	1.08	1.04

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む　〈資料〉厚生労働省

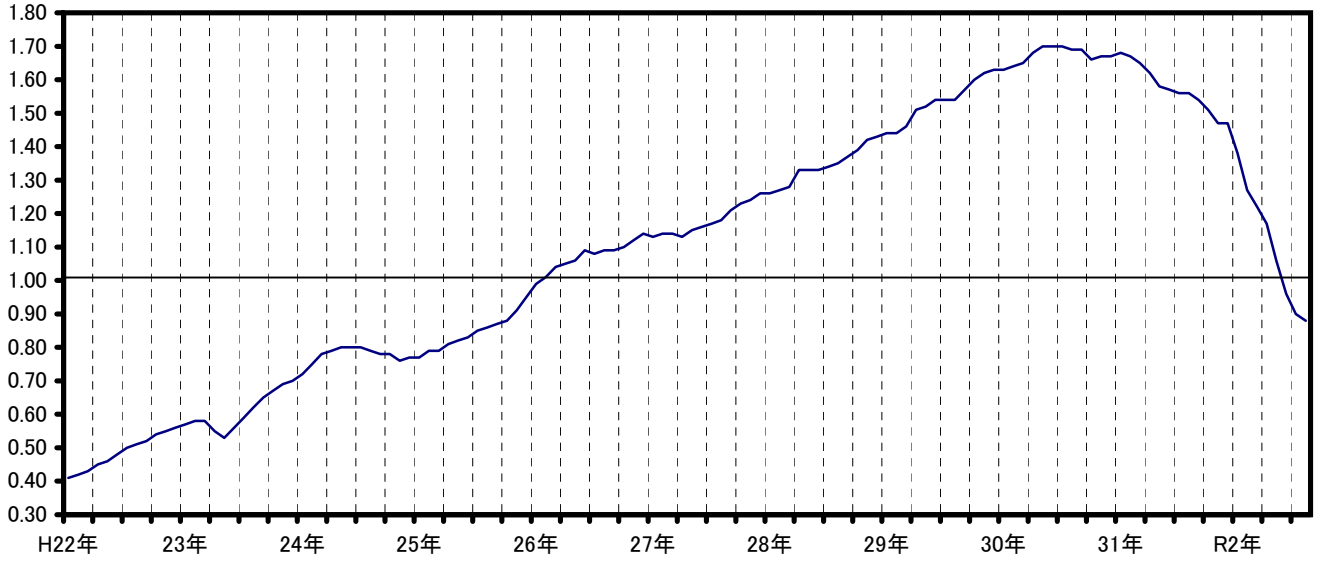
＜産業別新規求人前年同月比の推移＞　（単位：%）

	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
建設業	▲ 13.4	▲ 17.6	▲ 9.1	▲ 9.4	▲ 0.5	▲ 4.4	▲ 0.9	▲ 7.8
製造業	▲ 26.2	▲ 28.1	▲ 31.2	▲ 38.5	▲ 43.6	▲ 42.5	▲ 48.0	▲ 44.3
情報通信業	2.5	▲ 29.4	▲ 53.3	▲ 22.8	▲ 29.6	▲ 28.8	▲ 42.0	▲ 33.8
運輸業・郵便業	▲ 10.5	▲ 6.7	▲ 9.1	▲ 23.4	▲ 15.8	▲ 25.3	▲ 34.0	▲ 13.5
卸売業・小売業	▲ 25.1	▲ 27.6	▲ 12.2	▲ 22.6	▲ 35.7	▲ 31.7	▲ 28.1	▲ 36.7
医療・福祉	▲ 3.3	▲ 17.2	▲ 16.8	▲ 10.7	▲ 27.7	▲ 18.7	▲ 10.8	▲ 26.8
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 42.6	▲ 51.4	▲ 41.1	▲ 51.1	▲ 52.1	▲ 51.1	▲ 53.4	▲ 47.1
合計	▲ 23.3	▲ 28.9	▲ 18.9	▲ 30.1	▲ 32.9	▲ 29.1	▲ 32.7	▲ 31.5

(注)学卒､パートタイムを除く　〈資料〉厚生労働省

＜過去10年間の推移＞

有効求人倍率(学卒を除き､パートタイムを含む)(倍)　〈資料〉厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

８ 月 ＝　　16,852人

＊前　月　比:　4.0%増

＊前年同月比:　48.3%増

＜概　況＞

８月の雇用保険受給者実人員は16,852人で、前月比は4.0%増と、４か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は48.3%増と12か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率（全国）は3.0%と前月から0.1ポイント悪化した。

静岡県（令和２年４～６月）の完全失業率は2.2%で、前期（令和２年１～３月）から0.2ポイント悪化した。

＜最近の動き＞

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
実　人　員　（　人　）	10,717	10,142	10,192	9,880	11,648	14,183	16,199	16,852
前　月　比　(%)	0.4	▲ 5.4	0.5	▲ 3.1	17.9	21.8	14.2	4.0
前 年 同 月 比　(%)	8.0	6.5	7.7	1.6	8.0	33.3	41.8	48.3
(参考)全国前年同月比(%)	6.2	3.6	6.7	1.0	3.0	25.8	27.6	33.2

〈資料〉厚生労働省

＜参考　完全失業率（全国）の推移＞

	Ｒ２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
完全失業率(全国)　(%)	2.4	2.4	2.5	2.6	2.9	2.8	2.9	3.0

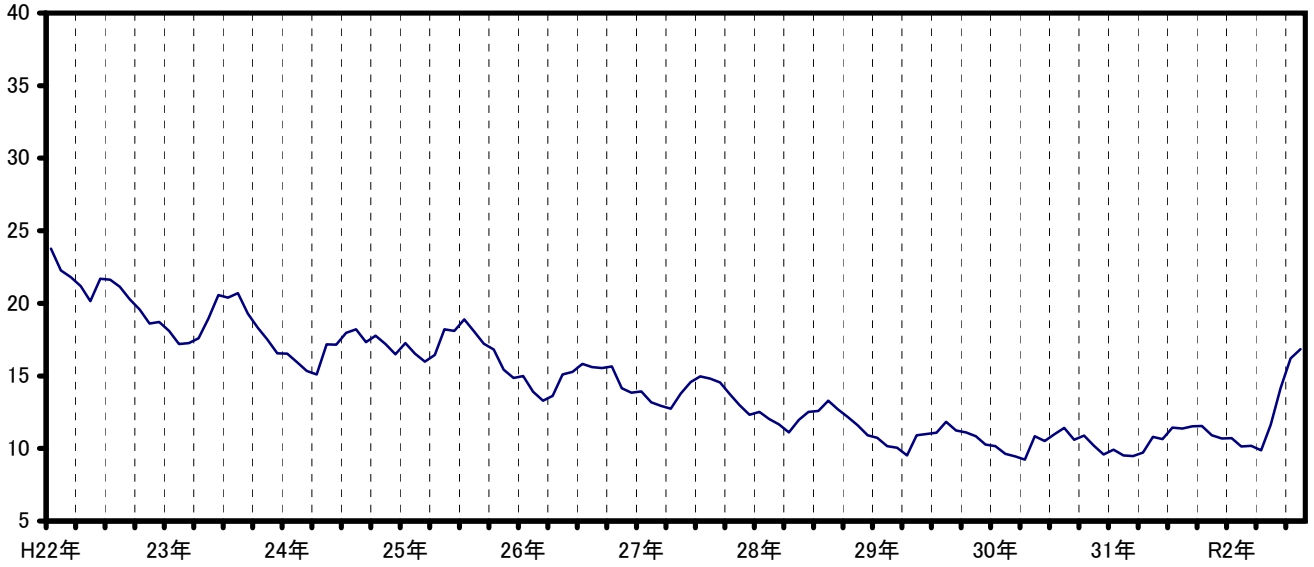
(注)季節調整値

〈資料〉総務省統計局

＜過去10年間の推移＞

雇用保険受給者実人員(千人)

〈資料〉厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

７月 ＝ 64.3

＊前月比(季節調整済指数)： 11.1%増

(平成27年＝100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) ＊前年同月比(原指数) ： 26.6%減

＜概　況＞

７月の所定外労働時間指数（事業所規模30人以上、調査産業計）は64.3(季節調整済指数)で、前月比は11.1%増となった。また、前年同月比（原指数）は26.6%減と18か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業（前年同月比 27.8%増）が２か月ぶり、医療・福祉（同 11.1%増）が２か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業（同 35.0%減）が21か月連続、情報通信業（同 36.7%減）が８か月連続、運輸業・郵便業（同 29.2%減）が９か月連続、卸売業・小売業（同 25.6%減）、その他のサービス業（同 20.2%減）がいずれも４か月連続で前年実績を下回った。

＜最近の動き＞

	R元年12月	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月
指数	84.4	90.8	88.1	89.9	71.6	55.1	57.9	64.3
前月比(%)	3.2	7.6	▲ 3.0	2.0	▲ 20.4	▲ 23.0	5.1	11.1
前年同月比(%)	▲ 8.2	▲ 3.2	▲ 6.1	▲ 3.1	▲ 22.3	▲ 38.2	▲ 31.7	▲ 26.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 3.9	▲ 2.5	▲ 3.2	▲ 7.1	▲ 19.1	▲ 30.6	▲ 24.3	▲ 16.3

＊平成27年＝100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数　　〈資料〉県統計調査課

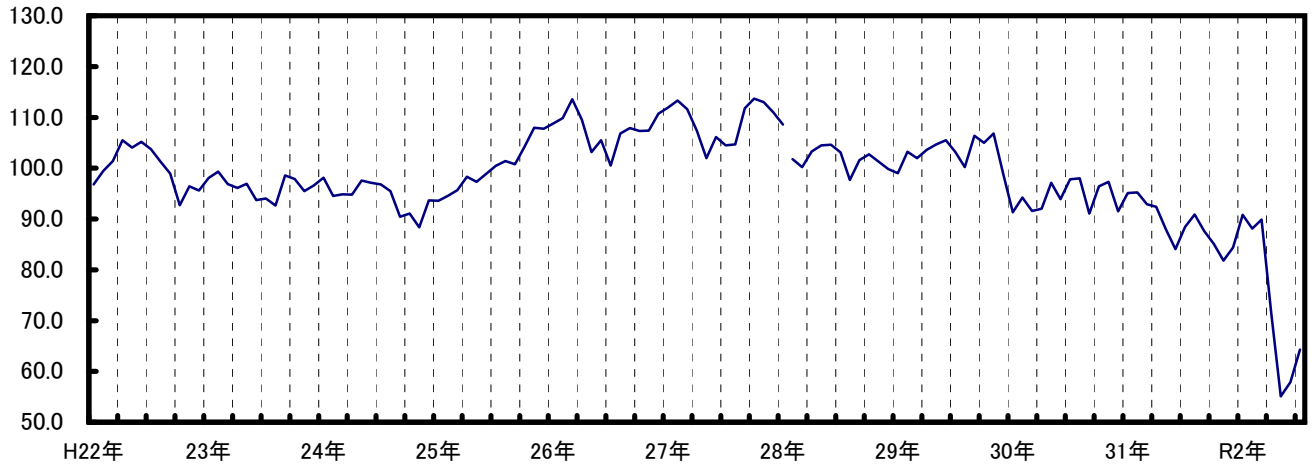
＜県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移＞　　(単位：%)

	R元年12月	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月
建設業	178.9	73.3	113.8	96.1	39.8	2.5	▲ 31.1	27.8
製造業	▲ 16.2	▲ 9.6	▲ 11.5	▲ 7.1	▲ 30.1	▲ 54.1	▲ 39.3	▲ 35.0
情報通信業	▲ 8.3	▲ 24.4	▲ 20.9	▲ 20.6	▲ 36.1	▲ 25.8	▲ 23.5	▲ 36.7
運輸業・郵便業	▲ 1.8	▲ 11.9	▲ 9.3	▲ 14.0	▲ 26.9	▲ 25.2	▲ 37.9	▲ 29.2
卸売業・小売業	11.8	3.9	▲ 1.3	13.9	▲ 12.5	▲ 25.6	▲ 13.7	▲ 25.6
医療・福祉	▲ 1.7	▲ 1.4	▲ 14.6	▲ 11.9	▲ 1.4	0.0	39.2	11.1
その他のサービス業	▲ 6.7	▲ 6.5	▲ 7.4	0.0	▲ 10.5	▲ 35.7	▲ 23.2	▲ 20.2
調査産業計	▲ 8.2	▲ 3.2	▲ 6.1	▲ 3.1	▲ 22.3	▲ 38.2	▲ 31.7	▲ 26.6

＊平成27年＝100, 事業所規模30人以上, 前年同月比:原指数　　〈資料〉県統計調査課

＜過去10年間の推移＞

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)　　〈資料〉県統計調査課



そ　の　他

1　物　価

国内企業物価指数　　９月＝　100.1

（平成27年=100）

＊前　月　比：0.2%下落

＊前年同月比：0.8%下落

＜概　況＞

９月の国内企業物価指数は 100.1となり、前月を0.2%の下落となった。また、前年同月比は0.8%の下落となった。

＜最近の動き＞

	R２年２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
国内企業物価指数	101.9	101.0	99.4	98.9	99.6	100.2	100.3	100.1
前月比（%）	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 1.6	▲ 0.5	0.7	0.6	0.1	▲ 0.2
前年同月比（%）	0.7	▲ 0.5	▲ 2.5	▲ 2.8	▲ 1.6	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 0.8

*平成27年=100

〈資料〉日本銀行

2　金　融

(1) 県内金融機関貸出残高　　８月＝　145,086億円

（銀行、信用金庫）

＊前　月　比：　0.1%減

＊前年同月比：　7.0%増

＜概　況＞

８月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は145,086億円で、前月比は0.1%の減少となった。また、前年同月比は7.0%の増加となった。

	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
貸出残高（億円）	136,481	136,721	137,249	138,387	142,636	144,316	145,237	145,086
前月比（%）	0.2	0.2	0.4	0.8	3.1	1.2	0.6	▲ 0.1
前年同月比（%）	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.8	1.7	5.4	6.1	7.0	7.0

〈資料〉日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利　　８月＝　1.678%

（県内地銀４行総平均）

＊前　月　差：　0.008ポイント減

＊前年同月差：　0.108ポイント減

＜概　況＞

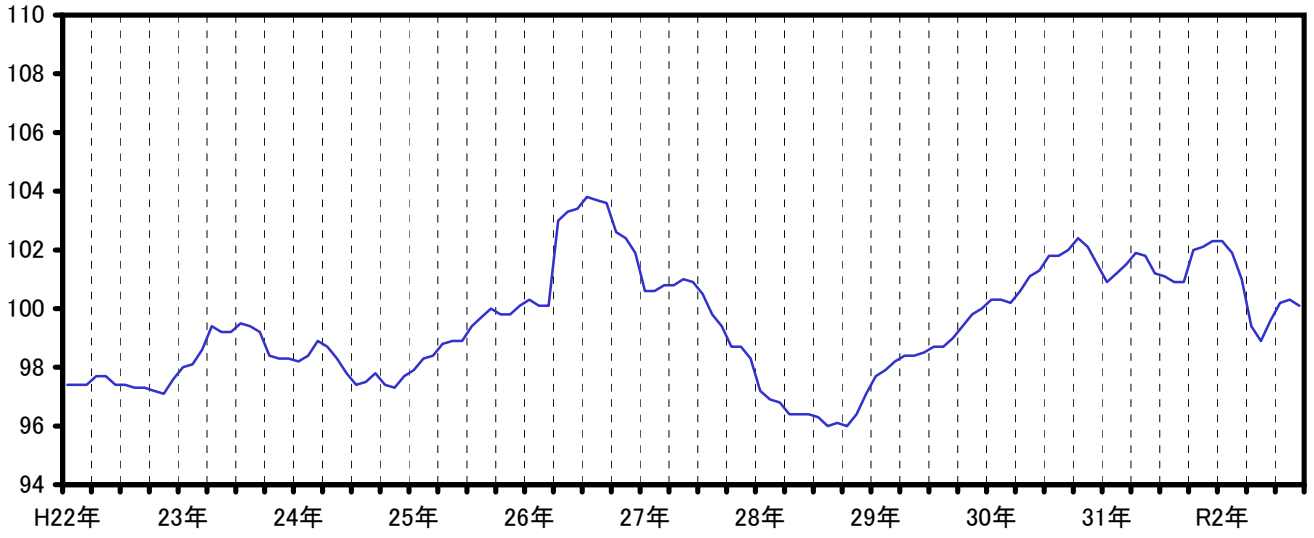
８月の県内地銀４行総平均の貸出約定金利(総合)は 1.678%で、前月から0.008ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.108ポイントのマイナスとなった。

	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
貸出約定金利（%）	1.769	1.761	1.740	1.723	1.710	1.686	1.686	1.678
前月差（ﾎﾟｲﾝﾄ）	0.030	▲ 0.008	▲ 0.021	▲ 0.017	▲ 0.013	▲ 0.024	0.000	▲ 0.008
前年同月差（ﾎﾟｲﾝﾄ）	▲ 0.151	▲ 0.148	▲ 0.145	▲ 0.117	▲ 0.123	▲ 0.127	▲ 0.108	▲ 0.108

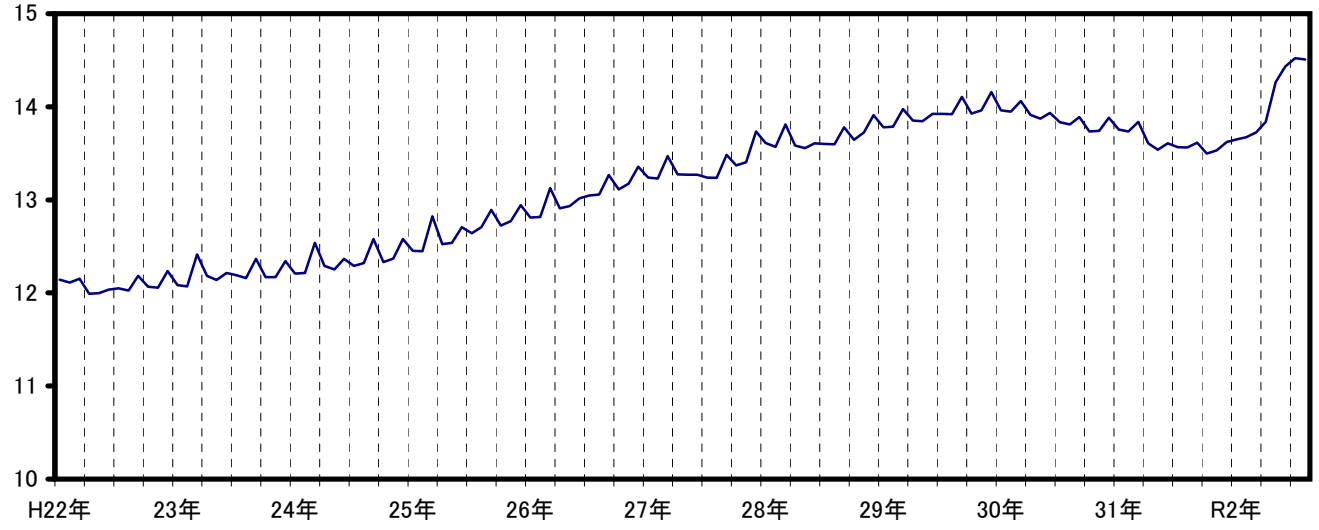
〈資料〉日本銀行静岡支店

＜過去10年間の推移＞

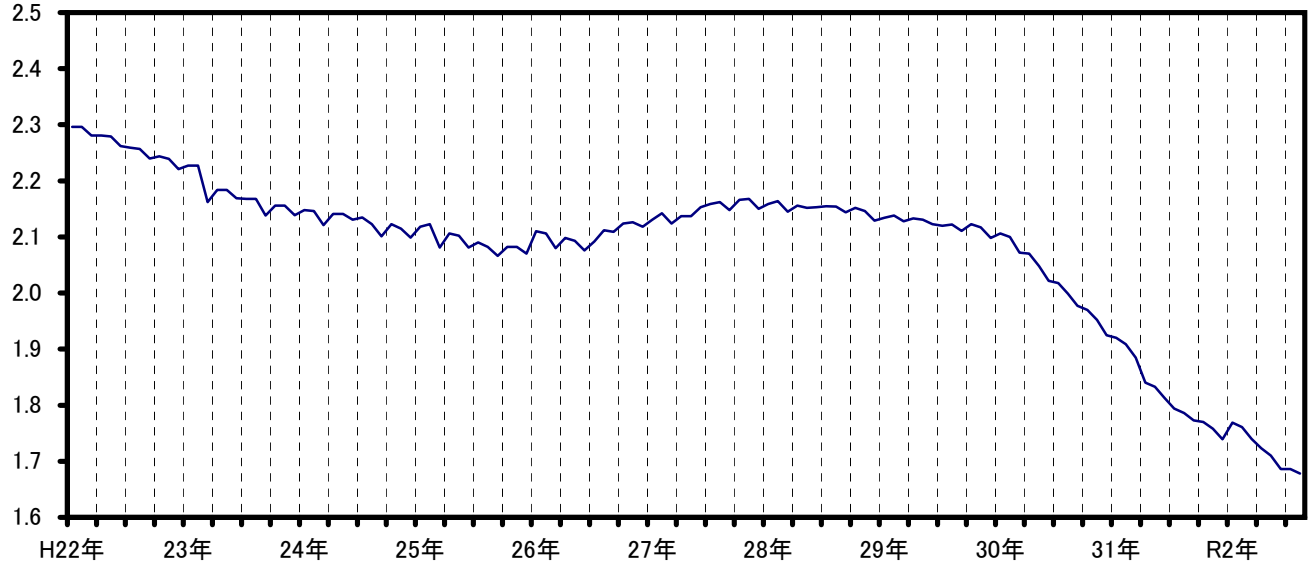
国内企業物価指数（平成27年=100）　〈資料〉日本銀行



県内金融機関貸出残高（兆円）　〈資料〉日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利（%）　〈資料〉日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

８ 月 ＝ 60,088百万円

＊前年同月比： 408.5%増

＜概　況＞

８月の保証承諾は、金額は60,088百万円（前年同月比 408.5%増）、件数は4,791件（同 296.3%増）と、いずれも６か月連続で前年実績を上回った。

＜最近の動き＞

	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
保証金額（百万円）	13,977	14,832	28,818	132,181	172,545	174,381	144,620	60,088
前年同月比（%）	9.9	▲ 7.4	49.6	1,178.7	1,345.9	1,185.2	933.1	408.5
保証件数（件）	1,416	1,550	2,582	6,152	8,566	12,152	10,346	4,791
前年同月比（%）	5.7	▲ 2.7	34.0	459.4	609.2	786.5	620.6	296.3

〈資料〉県信用保証協会

(4) 円相場

９月＝ 105.74円/ドル

＊前　月　差： 0.30円高

（東京･銀行間直物中心･平均）

＊前年同月差： 1.67円高

＜概　況＞

９月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は105.74円で、前月と比べて0.30円の円高となり、３か月連続で円高となった。

＜最近の動き＞

▲…円高

	R２年２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
平均相場（円）	109.96	107.29	107.93	107.31	107.56	106.78	106.04	105.74
前月差（円）	0.62	▲ 2.67	0.64	▲ 0.62	0.25	▲ 0.78	▲ 0.74	▲ 0.30
前年同月差（円）	▲ 0.40	▲ 3.92	▲ 3.73	▲ 2.52	▲ 0.50	▲ 1.44	▲ 0.23	▲ 1.67

（注）東京外国為替相場･銀行間直物中心相場･平均

３　企業経営

企業倒産件数

９ 月 ＝ 13件

＊前年同月比： 35.0%減

＜概　況＞

９月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は13件（前年同月比 35.0%減）、負債総額は1,136百万円（同 26.3%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が12件と全体の92.3%を占め、274か月連続して50%以上となっている。

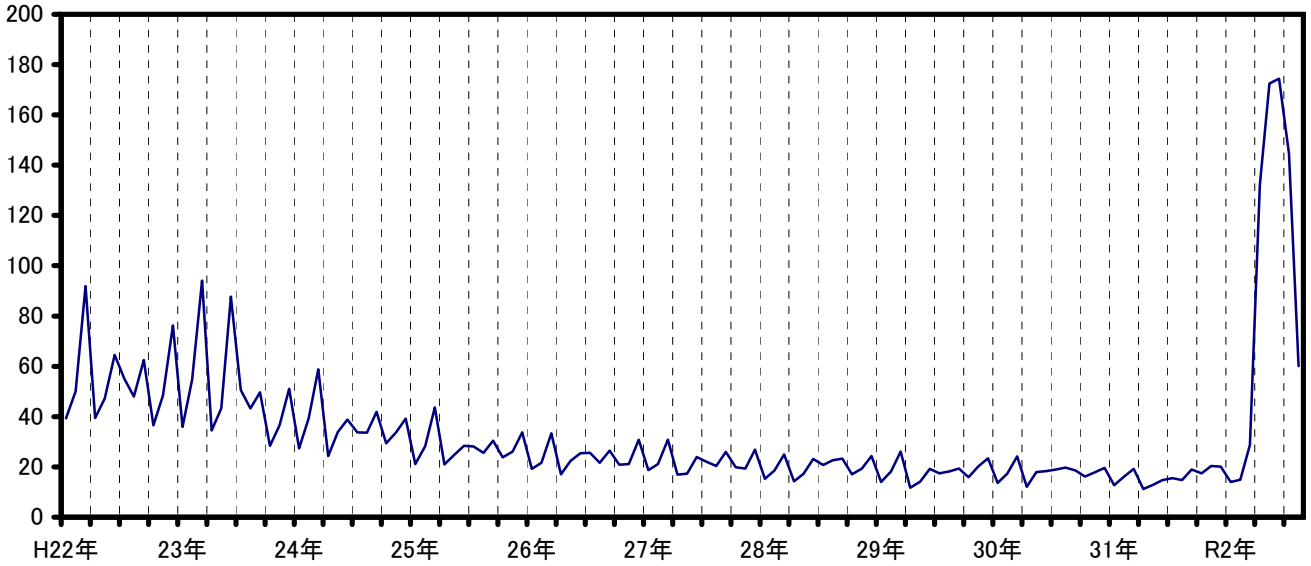
＜最近の動き＞

	R２年２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
倒産件数（件）	11	18	24	11	32	16	14	13
前年同月比（%）	▲ 8.3	50.0	41.1	▲ 35.2	128.5	▲ 44.8	16.6	▲ 35.0
うち不況型倒産件数(件)	11	17	21	9	29	14	13	12
負債総額（百万円）	1,448	2,270	7,493	1,669	2,398	1,732	1,907	1,136
前年同月比（%）	▲ 3.1	▲ 47.5	191.3	▲ 9.6	▲ 24.8	▲ 55.7	30.7	▲ 26.3

〈資料〉(株)東京商工リサーチ静岡支社

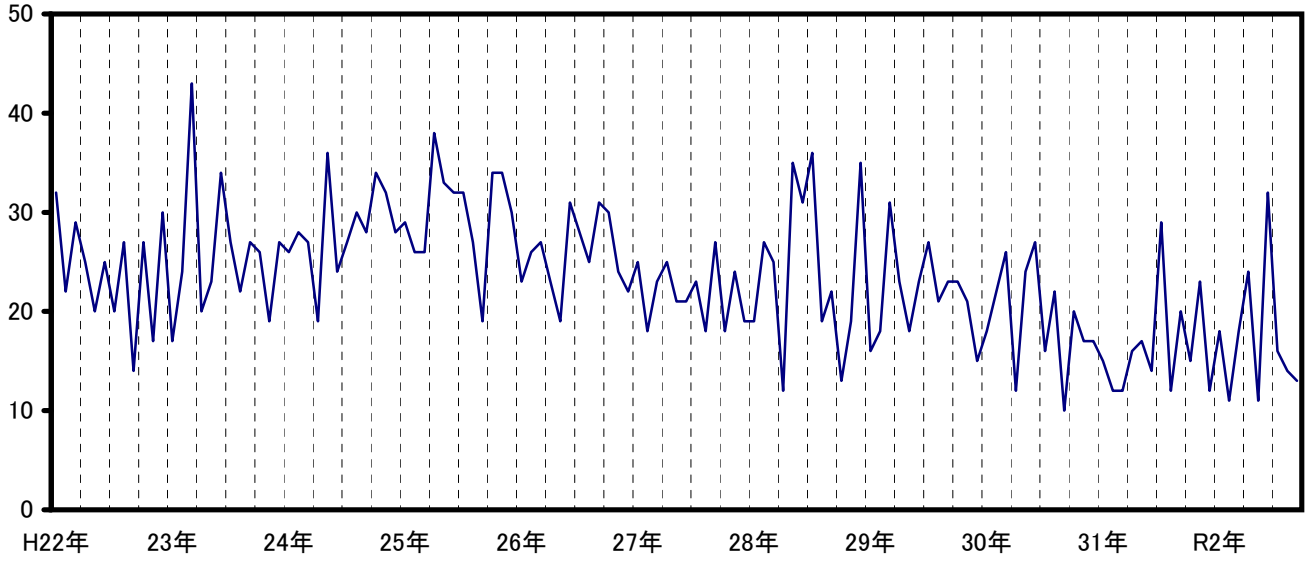
＜過去10年間の推移＞

信用保証協会保証承諾金額(十億円)　〈資料〉県信用保証協会



対ドル平均円相場(円)

企業倒産件数(件)　〈資料〉(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ　令和２年８月を中心とした静岡県主要産業の動向

業　　種	産　　業　　動　　向
二 輪 車	７月の国内二輪車生産台数は、33,133台（前年同月比 32.0％減）と、６か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、13,034台（同 7.3％減）と、３か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,003台（同 44.4％減）と、２か月ぶりに前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,928台（同 21.7％減）と、３か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車(251cc以上）は、11,168台（同 48.5％減）と、５か月連続で前年実績を下回った。 出荷台数は、国内向けは、36,062台（同 7.2％増）と、２か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、19,456台（同 37.6％減）と、６か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
自　動　車	７月の自動車国内生産台数は、697,867台（前年同月比 22.1％減）と、10か月連続で前年実績を下回った。輸出は291,171台（同 34.6％減）と、10か月連続で前年実績を下回った。 国内生産は、乗用車が10か月連続、トラックが12か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも10か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
電気機械	８月の冷蔵庫の国内出荷額は432億円（前年同月比 0.4％増）と、２か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は384千台（同 1.9％減）と、３か月ぶりに前年実績を下回った。 ８月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは940千台（同 2.1％減）と、３か月ぶりに前年実績を下回った。業務用は70千台（同 16.3％減）と、７か月連続で前年実績を下回った。 ８月の携帯電話の国内出荷台数は、919千台（同 5.4％減）と、３か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、627千台（同 11.8％増）と、２か月連続で前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は68.2％だった。 ＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、ＪＥＩＴＡ/ＣＩＡＪ
生産用機械	８月の工作機械の受注総額は、679億8,000万円（前年同月比 23.2％減）と、23か月連続で前年実績を下回った。 内訳をみると、外需は449億1,100万円（同 11.8％減）と、23か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが230億8,800万円（同 11.5％増）と、２か月連続で前年実績を上回った。内需は230億6,900万円（同 38.5％減）と、21か月連続で前年実績を下回った。 県内中小企業からは、「顧客からの情報が流動的で見通しが立たない。価格がより厳しくなっている。」「新型コロナウイルスのクラスター発生後、一段と営業、生産活動が厳しさを増している。」という声が聞かれた。 ＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会

業　　種	産　　業　　動　　向
楽　器	８月の県内楽器メーカーの販売金額は、32億2,956万円（前年同月比28.3％減）と、11か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが20億2,150万円（同 18.2％減）と、国内向けが12億806万円（同 40.6％減）だった。 ピアノ生産台数は2,151台（同 15.6％減）だった。機種別では、アップライトピアノが1,512台（同 10.3％減）、グランドピアノ639台（同 26.0％減）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,325台（同 4.3％増）、国内向けが416台（同 56.2％減）だった。 ＜資料＞静岡県楽器製造協会
紙	８月の紙・板紙の国内出荷高は、1,608千㌧（前年同月比 13.9％減）と、13か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は805千㌧（同 19.1％減）と、13か月連続で前年実績を下回った。板紙は803千㌧（同 7.9％減）と、11か月連続で前年実績を下回った。 品種別では、主力の印刷・情報用紙が、417千㌧（同 23.2％減）と、13か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、139千㌧（同 7.0％減）と、４か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」
缶詰･飲料	８月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,029千箱（前年同月比 14.1％増）と、２か月ぶりに前年実績を上回った。 分類別でみると、水産缶（国内向け）は685千箱（同 13.5％増）と、６か月連続で前年実績を上回った。うち、主力であるツナ缶は537千箱（同13.7％増）と、５か月連続で前年実績を上回った。 農畜産缶（国内向け）は344千箱（同 15.3％増）と、２か月ぶりに前年実績を上回った。 飲料缶類は、国内向けが7,336千箱（同 11.5％増）と、２か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞静岡缶詰協会
繊　維	８月の広幅織物の県内生産は、577千㎡（前年同月比 46.1％減）と、15か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、531千㎡（同 46.2％減）と、17か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、46千㎡（同 44.5％減）と、５か月連続で前年実績を下回った。 小幅織物の県内生産は、13千㎡（同 37.1％減）と、29か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合
家　具	８月の全国百貨店での家具販売額は、39億9,907万円（前年同月比24.7％減）と、11か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、635億256万円（同 7.9％増）と、３か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会

業　　種	産　　業　　動　　向
小　売　業	８月の県内百貨店・スーパーの販売額は、37,924百万円（既存店前年同月比 0.8％増）と、前年実績を上回った。品目別では、飲食料品のみが前年と比較して増加しており、その他の品目（衣料品、身の回り品、家庭用品、その他の商品、食堂・喫茶）では、減少していた。特に、食堂・喫茶の減少幅が大きかった。 中部の百貨店への聞き取りによると、これまで新型コロナウイルス感染症の影響で、売上げが低迷していた品目の一部で反動需要も見られたが、消費税率引上げ前の駆け込み需要があった前年同月と比較すると、全体の売上げは、減少した。また、感染症対策として、時短営業を継続した影響で、来客数も前年同月の実績を大きく下回った。 西部の専門店への聞き取りによると、客単価は、外出自粛によるまとめ買いの傾向が継続しているため、前年同月と比較して上昇していたが、売上げ及び来客数は、新型コロナウイルス感染症の影響で、集客イベントを開催できなかったことなどにより、前年同月と比較して大きく減少していた。 県内の食品スーパーへの聞き取りでは、新型コロナウイルス感染症の影響で、家で食事を作る消費者が多いことや、キャンプ・バーベキュー人気が上昇していること等を受け、売上げは、前年同月と比較して増加していた。また、まとめ買いをする消費者も多く、客単価も上昇していた。 百貨店や専門店の売上げが低迷する一方で、食品スーパーの売上げは増加しており、全体を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響が、依然として大きく見られる結果となった。 ＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課
観　　光	８月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約39万人で、前年同月比24.2％減だった。 新型コロナウイルス感染症の影響が続いたことに加え、小学校、中学校及び高等学校の夏休みが短縮されたことなどによるものである。 主要有料道路（４路線※1）の合計通行車両数は、約69万台となり、前年同月比22.0％減だった。 ※１　遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年９月28日から無料化されたことに伴い、令和元年10月から対象が５路線から４路線へと減少 ＜資料＞静岡県観光政策課

＝ Ⅳデータからみた県内主要産業 ＝

＜二輪車＞

	R元年12月	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
完成車生産台数（台）	24,281	26,140	25,984	20,626	18,471	4,821	12,273	13,856	14,410
前年同月比（%）	▲ 1.1	7.6	3.1	▲ 5.6	▲ 2.3	▲ 74.0	▲ 30.8	▲ 37.1	▲ 11.2
KD輸出額（百万円）	1,544	1,278	1,559	1,524	1,082	32	526	514	506
前年同月比（%）	104.9	67.1	91.1	91.8	25.4	▲ 97.2	▲ 43.5	▲ 66.3	▲ 47.2

＜楽　器＞

	R元年12月	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
生産総額（百万円）	3,099	3,062	2,707	3,166	1,997	1,130	2,128	2,326	1,801
前年同月比（%）	5.0	8.9	▲ 10.7	0.5	▲ 39.6	▲ 64.6	▲ 32.5	▲ 35.7	▲ 32.3

＜缶詰＞

	R元年12月	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
食缶生産高（千ｹｰｽ）	993	873	842	1,006	1,173	1,113	1,145	1,062	1,029
前年同月比（%）	4.7	▲ 5.7	▲ 5.5	▲ 0.2	17.2	25.0	21.0	▲ 0.8	14.1
うち水産缶詰(%)	▲ 1.8	▲ 16.9	▲ 8.3	1.2	18.5	29.1	28.9	3.8	13.5
農畜産缶詰（%）	19.8	23.9	0.2	▲ 2.8	14.4	16.6	6.3	▲ 9.0	15.3
飲料缶生産高（千ｹｰｽ）	5,910	4,888	6,002	8,263	7,742	6,986	7,190	8,475	7,336
前年同月比（%）	▲ 3.7	5.1	8.1	6.9	▲ 0.0	▲ 13.1	▲ 13.1	1.2	11.5

＜繊　維＞

	R元年12月	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
広幅織物（千㎡）	1,381	1,302	1,216	1,164	1,028	755	732	663	577
前年同月比（%）	▲ 15.7	▲ 15.0	▲ 12.7	▲ 14.3	▲ 19.6	▲ 37.4	▲ 37.0	▲ 39.5	▲ 46.1
小幅織物（千㎡）	25	25	24	22	20	17	15	11	13
前年同月比（%）	▲ 16.6	▲ 14.2	▲ 13.7	▲ 16.4	▲ 25.5	▲ 32.8	▲ 41.3	▲ 55.9	▲ 37.1

＜観　光＞

	R元年12月	R２年１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
観光施設(10施設)入込（千人）	264	313	301	345	131	21	234	223	389
前年同月比（%）	▲ 6.7	2.3	8.2	▲ 28.2	▲ 76.5	▲ 96.7	▲ 28.6	▲ 26.6	▲ 24.2
有料道路(4路線)通行量（千台）	564	512	556	532	318	315	420	489	687
前年同月比（%）	0.7	▲ 1.2	8.4	▲ 13.3	▲ 55.8	▲ 58.5	▲ 36.3	▲ 32.7	▲ 22.0

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去 10 年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
http://toukei.pref.shizuoka.jp/

需要面
- 大型小売店販売額
- 専門量販店等販売額
- 自動車新規登録台数
- 新設住宅着工戸数
- 清水税関支所管内輸出額
- 清水税関支所管内輸入額

生産面
- 鉱工業生産指数
- 鉱工業在庫指数

雇用面
- 有効求人倍率
- 雇用保険受給者実人員
- 完全失業率
- 所定外労働時間指数

その他
- 国内企業物価指数
- 県内金融機関貸出残高
- 信用保証協会保証金額
- 企業倒産件数

提供いただいている資料

資　料　名	提　供　元	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資　料　名	提　供　元	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://wwwdbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和２年10月号　通巻534号

発　行　静岡県経済産業部
令和2年10月

編　集　経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町９－６
TEL　054-221-2635
FAX　054-221-3217
E-mail　sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL　http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/